

Fukuoka City Public Library Movie Hall
福岡市総合図書館映像ホール



Ciné-là NEWS
シネラ・ニュース
Nobember.1999 No.40

11

特集

今村昌平監督特集



姥捨て山へ行くときは誰にも見られてはならないと言うのが掟。
山へと向かう二人の姿を見つめるフクロウの存在がとても印象的。

「楢山節考」／イラスト：山下良平

[特集]

シュマンジャヤ監督と インドネシア映画

[特別上映イベント]

風のふくおか'99

特集 シュマンジャヤ監督とインドネシア映画

娯楽作品から社会派作品まで幅広い作品を持つ、インドネシア映画界の巨匠シュマンジャヤ監督と現代インドネシア映画の特集

シュマンジャヤから ガリン・ヌグロホへ

70年代のインドネシア映画は国の援助により、製作本数が増大、大衆の人気を得るようになる時代であった。しかしシュマンジャヤ監督の作品は娯楽性とは一線を画す芸術的な作品であり、しかもコメディあり、重厚で思索的な作品ありとバラエティに富む映画作りの実験を行っている。またモスクワでの勉強を活かし、自作の中に「戦艦ポチョムキン」の引用を行うなど、インドネシアの国に根ざしながら西洋的な映画作りを定着させた監督でもあった。

70年代から80年代にかけて全盛を迎えるインドネシア映画だが、シュマンジャヤ監督の死後(85年)、全く新しい監督が登場する。今年公開された「枕の上の葉」が評判を呼んでいるガリン・ヌグロホ監督である。ヌグロホ監督の登場は、インドネシア映画界の新人類ともいべき衝撃であり、インドネシア映画が国際的な水準にあることを証明したものだった。

今回の特集はシャマンジャヤ監督からガリン・ヌグロホ監督までのインドネシア映画の代表作を上映するものである。

会期：11月17日(水)～26日(金) ※休館日・休映日を除く

観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

18木 | 25木
14:00 | 19:00
日本語字幕付き

ママド氏

Mr. Mamad

主人公のママド氏は国立公文書館に務める真面目な人物である。しかし子沢山のため生活が苦しく、魔がさしたママド氏は事務所の備品を売ろうとする。物語はチエーホフの翻案であるが、変貌する時代に取り残された生真面目な人物の悲哀を描いたシャマンジャヤ監督の傑作である。

1973年/16ミリ/カラー/111分/インドネシア
監督：シュマンジャヤ 出演：マン・ウデル

25木 | 26金
14:00 | 19:00
日本語字幕付き

ナガ・ボナール将軍

Naga Bonar

オランダによるインドネシア支配が再び始まった1945年。スリ前科者のナガ・ボナールは、愛国心からではなく気楽な気持ちで反オランダの戦いに参加する。そしてハ丁で出世するナガ・ボナールは、とうとう将軍になってしまう。異色の戦争コメディ映画である。

1987年/35ミリ/カラー/109分/インドネシア
監督：M・T・リシャフ 出演：テディ・ミズワル

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

18木 | 24水
19:00 | 14:00
日本語字幕付き

無神論者

Atheist

オランダ植民地時代末期のジャワ島・バンドン。ハサンはイスラム教徒で信心深い男だったが、マルクス主義者で無神論者の友人ルスリから影響を受け、次第に信仰が搖らぎ始める。この映画の原作である同名の小説は、インドネシアで最も有名な小説として知られている。

1974年/16ミリ/カラー/147分/インドネシア
監督：シュマンジャヤ 出演：テディ・ストモ

21日 | 26金
15:00 | 14:00
日本語字幕付き

チュ・ニヤ・ディン

Tjoet Nja' Dhien

19世紀後半、スマトラ島北部のアチエ王国の指導者トウク・ウマールとその妻チュ・ニヤ・ディンの、オランダとの戦いを描いた作品。チュ・ニヤ・ディンは独立戦争の英雄として今多くの人に敬愛されている。気丈なチュ・ニヤ・ディンをクリスティン・ハキムが熱演する。

1988年/35ミリ/カラー/133分/インドネシア
監督：エロス・ジャロット 出演：クリスティン・ハキム

17水 | 20土
14:00 | 11:00
日本語字幕付き

砂利道

Sharp Pebbles

中部ジャワのチラチャップ村に住む少女レトノと妹のインテンの物語。街に働きにでた二人は危うく身売りされそうになる。逃げ出した二人はジャカルタを目指して旅をするのだった。近代化の進む80年代のインドネシア社会状況を痛烈に批判した作品。

1984年/35ミリ/カラー/122分/インドネシア
監督：シュマンジャヤ 出演：クリスティン・ハキム

17水 | 20土
19:00 | 15:00
日本語字幕付き

ドゥルの少年期

Doel, the Betawi Boy

ジャカルタ郊外に住む少年ドゥルは突然父親が事故死てしまい、生活のために母の菓子売りの手伝いをしなければならなくなる。ドゥルの夢はみんなと一緒に学校へいくことだった。この作品は公開当時大ヒットとなり、ドゥルを知らぬ者はいないとわれるほどの人気となった。

1973年/35ミリ/カラー/87分/インドネシア
監督：シュマンジャヤ 出演：ラノ・カルノ

19金 | 24水
14:00 | 18:00
日本語字幕付き

オペラ・ジャカルタ

Jakarta Opera

ヒロイン・ルムの結婚式を中心に、ルムの恋人であるボクサー・ヨコの物語やヨコの父親である將軍ソニの物語などが回想形式で進行する作品。ボクシングの八百長試合やでっちあげのレイブ事件等、ジャカルタ上流階級の腐敗が執拗に描かれた大作であり、シャマンジャヤ監督の遺作となった作品。

1985年/35ミリ/カラー/181分(5分間の休憩あり)/インドネシア
監督：シュマンジャヤ 出演：ゾラヤ・ベルチャ

19金 | 21日
19:00 | 11:00
日本語字幕付き

一切のパンの愛

Love in a Slice of Bread

今年「枕の上の葉」が話題のガリン・ヌグロホ監督の長編デビュー作。都市に住むヤングエリートを主人公に据え、心の内面を描いた本作は、インドネシア映画のニューウェーブとして東京国際映画祭ヤングシネマ部門で受賞、世界的に注目を浴びるきっかけとなる。

1991年/35ミリ/カラー/97分/インドネシア
監督：ガリン・ヌグロホ 出演：ティオ・バクサデウォ

特別上映
イベント

風のふくおか'99

福岡市レクリエーション協会20周年記念イベントとして、ドキュメンタリー映画で有名な千葉茂樹監督の「映画上映と講演会」が下記のとおり開催されます。

映画は、インド・カルカッタで愛と献身の活動を行うマザー・テレサさんを追ったドキュメンタリーで、国内外の8つの賞を受賞。

千葉茂樹監督（近代映画協会、日本映画学校副校長）は、数多くのドキュメンタリー映画の名作を発表。最新作は、アジアフォーカス・福岡映画祭'99で上映され、評判の高かった「豪日に架ける一愛の鉄道」。あなたも、このイベントに参加して、「生きることは分かち合うこと」について考えてみませんか。

開催日 11月28日(日)

開催時間 午前の部 10:15～13:15

午後の部 14:00～17:00

開催場所 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

プログラム (1) 映画「こんにちわ地球家族」

(2) 講演 映画監督 千葉茂樹氏

(3) 映画「マザー・テレサとその世界」

入場料 映画2本と講演 大人1,000円／小学生以下500円

主催／共催 福岡市レクリエーション協会／福岡市教育委員会

お問い合わせ 福岡市レクリエーション協会 電話 092-733-5020

*当日の企画進行上、開始時間等が若干変更される場合もあります。あらかじめご了承ください。

INFORMATION+

映像セミナー「小型映画の世界と現在形」の受講者募集(お知らせ)

実験映画、ドキュメンタリー、前衛映画、評論などの多彩な表現で活躍中の作家・研究家を講師に迎えて小型映画の魅力に迫ります。映像表現に関心のある方々へのめったに出来ない特別企画です、是非受講してみませんか。

【日 時】

※セミナー時間は約90分、講師は予定です。

(1) 12/19(日) 16:00～
講師／松本俊夫氏 (日本映像学会会長、映像作家)

(2) 12/23(木・祝) 13:30～
講師／那田尚史氏 (映画史研究家)

(3) 12/26(日) 13:30～
講師／昼間行雄氏 (映像作家)

【場 所】 福岡市総合図書館(映像ホール・シネラ及び第2会議室)

【対 象】 映像に興味のある高校生以上で、3回のセミナーに全て出席できる方

【申込み】 官製往復葉書(住所・氏名・年齢・電話番号を明記)か、所定の申込用紙で映像資料課宛(締切:11月16日まで必着)

【受 講 料】 一般／3,000円 学生／2,000円
※特別企画「小型映画の世界」12/15～12/19のフリーパス券付き

【募集期間】 10月15日(金)から11月16日(火)まで
(定員50名 ※定員をこえた場合は抽選。)

○お問い合わせ 福岡市総合図書館映像資料課 Tel.092-852-0608 FAX.092-852-0609

3日(水・祝)11:00 10日(水)19:00 13日(土)15:00

にあんちゃん

昭和28年、極度の不景気に見舞われた佐賀県の小さな炭坑町を舞台に、両親を失い、貧困の中で健気に生きる四人兄弟を描く。原作は当時10歳の少女、安本末子の日記であり、今村らしい演出で描いた作品。

監督・脚本／今村昌平
出演／長門裕之
松尾嘉代
1959年／35ミリ
モノクロ／102分
日活



3日(水・祝)15:00 6日(土)11:00 11日(木)14:00 14日(日)11:00

豚と軍艦

米軍の放出する残飯をただて手に入れて、それで養豚をして儲けようと企むヤクザ達。自分の娘を米兵のオランリーにしようとする母親。醜悪な人間達の織りなすドラマをアリズムと喜劇の手法で描く重喜劇の代表作。

監督／今村昌平
原作・脚本／山内久
出演／長門裕之
吉村実子
1961年／35ミリ
モノクロ／108分／日活



4日(木)14:00 6日(土)15:00 11日(木)19:00 14日(日)15:00

赤い殺意

封建的な家族制度の中でもつとも抜けられた存在に甘んじ、おどおどしながら暮らす一人の女性が、夫の留守中に強盗に襲われる。事件をきっかけに徐々に変化していく女性の強さを重厚なタッチで描いた作品。

監督・脚本／今村昌平
出演／春川ますみ
西村晃
1964年／35ミリ
モノクロ／150分／日活



4日(木)19:00 7日(日)11:00 12日(金)14:00

人間蒸発

何の手がかりも残さず、自動機も解らぬまま失踪した一人の男性を、彼の婚約者と映画のスタッフが探すドキュメンタリー。監督の代わりに俳優の露口茂を婚約者と行動をともにさせるが、映画は意外な方向に進んでいく。

監督／今村昌平
1967年／35ミリ
モノクロ／130分／今村プロ=AT
G=日本映画新社



5日(金)14:00 7日(日)15:00 12日(金)18:00

神々の深き欲望

神話が今も生き残る南の島にも、近代化が迫ろうとしていた。因習に縛られ、それを守ろうとする人々と、近代化によって儲けようとする人々。日本民族の根元的な生活と因習を土台とした今村昌平の代表作。

監督・脚本／今村昌平
出演／三國連太郎
沖山秀子
1968年／35ミリ
カラー／175分／今村プロ



5日(金)19:00 10日(水)14:00 13日(土)11:00

樅山節考

食糧難から長男以外は結婚できず、71歳を過ぎた老人は、子によって近くの樅山のいただきに捨てられるという撻がある山奥の寒村。深沢七郎のデビュー小説を木下恵介に続き、二度目の映画化。カンヌ映画祭グランプリ。

監督・脚本／今村昌平
出演／形
緒方拳
坂本スミ子
1983年／35ミリ
モノクロ／130分／東映=今村プロ



特集

今村昌平監督特集

会期

11月3日(水・祝)～14日(日)

※休館日・休映日を除く

観覧料

500円(大人)／400円(大学生・高校生)／
300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額。
(手帳の呈示が必要です。)

今村昌平監督の探求心

今村昌平は1926年、東京に生まれ、1951年に松竹大船撮影所に入社。松竹助監督の時代には小津安二郎をメインとして、その他、野村芳太郎、渋谷実などの作品につく。1954年に製作再開したばかりの日活に移籍、川島雄三作品の助監督となり、監督昇進直前の1958年の「幕末太陽傳」(監督:川島雄三)では川島と共同脚本もつとめる。1958年の「盗まれた欲情」が監督第一作。同年監督第三作目となる「果てしなき欲望」でブルーリボン新人賞を受賞、以後、着実に評価を重ね、1983年の「樅山節考」、1997年の「うなぎ」で二度、カンヌ映画祭のグランプリを受賞している。

今村作品の特徴はなんといっても、「人間」という存在に対する執拗な探求心である。自らのことを「人間に対して偏執的なまでの興味をもち、人間を見ていく」と評する彼の作品は、徹底したリアリストの視点を持っている。その中で彼が強く惹かれるのは都市よりも地方であり、英雄的ではない人々である。そしてそうした彼の興味の中心は、人間の醜態、善惡を超えた、より根元的な人間存在に対する興味だといえるだろう。

初期の今村が「にあんちゃん」や浦山桐郎の「キューポラのある街」のシナリオのように、正統な性善説的映画を作る技量と才覚を持ちながら、人間の強欲と醜態を鋭く風刺した「豚と軍艦」のような作品を自身が好んだのは、そこに、より人間の根元的な姿が見いだせるからだろう。その後、こうした興味は東北を舞台とした「赤い殺意」などの作品や、奄美、沖縄など南方の島を模した「神々の深き欲望」で現れる土着性に対する執拗な興味へと深化していく、自然と人間との関係を問うた「樅山節考」へと結実する。一方で、個人に対する興味や執着も強く、群像劇における登場人物のそれぞれに、細かい背景を与え、一人の人間に焦点をあてた作品、「にっぽん昆虫記」や「復讐するは我にあり」などでは深く鋭くその中に入っていく。こうした彼の探求心がもっとも端的に表れた作品が、ドキュメンタリーである「人間蒸発」であり、今村昌平という作家の基本的なスタンスが明確に表れている。任意に選んだ一人の蒸発者(失踪者)をそのフィアンセと共に探すというこの作品で、自らの分身として俳優を起用し、フィアンセと同行させるが、あくまでフィアンセに探させるというスタンスを作る。今村自身の興味は失踪者の背景であり、失踪者自身に対する人間的興味であり、失踪した彼を見いだすことではない。やがて、その興味は失踪者の周辺の人々へ移り、最後には関係者同士の対決場面をスタジオの中にセットして、そのセットを解体することで全てをフィクションへと転化してしまう。こうした力業が可能なのも、今村があくまで出演者に同調せず、冷徹でエネルギッシュな観察者の視点を持ち続けているからにほかならない。

今村昌平の作品の面白さは、個人の存在の非合理性とそれを取り巻く社会や時代の非合理性を密接に照らし合わせながら、そこにアリズムを見いだしてドラマを作り出していくことである。そして生み出される世界を力強い演出で描くことである。

1997年に「黒い雨」以来8年ぶりとなる「うなぎ」、昨年は「カンゾー先生」を発表、いまだ衰えぬその力量をあらためて示した。

(映像調査員 山本 宰)

自主映画の上映会

シネラでは、毎月末の土日を中心に自主映画の上映会が開催されています。

上映回数も次第に増えつつあり、現在では、年間で十数回ほど。欧米映画や日本映画、実験映画からアニメまで、それこそ多種・多様な映画がスクリーン上で煌めいています。

現在、シネラをよく利用される団体は4団体ほどあります。それぞれに上映する映画も非常に個性的で、美空ひばりを一心に追いかける団体や、洋の東西を問わず評判の高い映画や名作・佳作を上映する団体、各ジャンル別に一定の評価を受けた監督の作品を特集上映する団体、日本映画の全盛時代の作品を中心上映する団体など様々です。

「映画が三度の飯よりも好きでたまらない。」といった人達が、より多くの人に「こんな映画を見せてあげたい。この映画は大変素晴らしい映画なのではない紹介したい。」といったような気持ちで、それぞれの会員がお金を出し合って「上映会」を組む訳です。日頃から彼らの活動を目の当たりにして「映画の灯を絶やさない。」という姿勢には本当に頭が下がる思いです。

ところで、最近のハリウッド映画の隆盛には目を見張るものがありますが、ここ数年、日本映画やヨーロッパ映画、アジア映画等も大変好調です。新作映画の上映スケジュールは映画館によって異なりますが、平均1~2週間、長くても3週間程度が一般的ですので、見たい映画がいつの間にか上映が終わっていたということはよくあります。かつての東宝名画座やセンターシネマのように「リ

お知らせ

ギャラリー展示
小型映画の世界

16ミリや8ミリなどの映写機や撮影機器類、映写関係の周辺資料を、映写機材史などとともにわかりやすく紹介します(展示予定数約200点)。

会期:12月1日(水)
~12月26日(日)
会場:福岡市総合図書館1階ギャラリー
観覧料:無料
お問い合わせ/092-852-0608映像資料課

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影された8ミリビデオや各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄、デジタルビデオの編集は不可)
※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介や上映スケジュール、図書館で開催される各種イベント等の情報を満載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。定期購読を希望される方は平成11年12月号より平成12年3月号迄の郵便切手(90円×4枚)を同封の上、下記宛先までお申し込み下さい。

宛先:〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1

福岡市総合図書館 映像資料課

次号の予告

特別企画 ウエスト・ミーツ・アジア

「慕情」「戦場にかける橋」「ウルガ」「セブンイヤーズ・イン・チベット」等で欧米の映画はアジアをどう描いてきたかを上映します。

特別企画 小型映画の世界

この世界のバイオニアとして著名な松本俊夫先生ほかを迎えての映像セミナーで理解を深め、記録映画、実験映画、前衛映画などを通じてその魅力に迫ります。

※中面にセミナーの受講生募集記事がありますのでご参照ください。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザインワークス/VOW OFFICE co.,ltd.

上映スケジュール

11月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月</p